

# 枕崎市地域の魅力創出事業

概要版：WS参加者作成

## 火之神地区当該土地の利活用に関する基本構想

枕崎市では「地域の魅力創出事業」として、市が選定する市職員（20名程度）及びまちづくりに関心のある市民（10名程度）をメンバーに5グループに分かれ、全5回のワークショップを実施し、枕崎市南西部に位置する火之神地区一帯の利活用についての基本構想策定に向けて取り組みました。

対象エリアは、枕崎市の一大景勝地である火之神公園へのアクセス道路に面しており、今後、有効的な活用を図ることで、近年のキャンプ客の増加などで賑わう火之神公園との相乗効果も見込まれ、市民の憩いの場、市外からの多くの誘客が図られる場になり得るなど、地域の活性化と関係人口の創出・拡大につながる、様々な地域課題の解決に向けた大きなポテンシャルを秘めているものと考えられます。

この図表は一連のワークショップから導き出されたものを概要版としてまとめたものです。

## 枕崎市の活性化につながる3つの柱

枕崎市の強み・弱み・機会・脅威の事象を分析し、進むべき3つの柱として整理しました。

### ①かつお節を中心とした食のブランド化

本市が誇る食文化をかつお節を軸とした「ブランド」として再構築し、産業の更なる発展を目指します。

### ②枕崎市のエリアデザイン

火之神エリアを含む市全体のデザイン(空間整備)をすることで、人の流れの創出を目指します。

### ③人とのつながりの醸成

まちづくりのマインドを持つ人材の育成、まちの担い手をつくり、人材と人材をつなぐことで、まちの活性化を目指します。

## 導き出した火之神エリアの5つの可能性

### 1. 食を中心に賑う、人と食の交流拠点

海が見えるオープンキッチンを整備し、調理の様子、食事、ロケーションを楽しめる空間に。地場産品の生産現場から調理、食事までが楽しめるツアーが展開され、一流のシェフが食の文化や技術を学び、シェフの卵が育つ食の聖地へ。



### 2. 新たな可能性を創出するクリエイティブエリア



ポップアップストアやイベントを通じて、枕崎の食がワンストップで味わえる施設「**カッコ**」(cacco)。事業のスタートアップの後押しや新しい層の誘客を促し、火之神を中心に人の循環を創出することで、枕崎全域に波及効果をもたらす。

### 3. 海が見える総合公園

芝生が広がる総合公園を整備。海が見えるロケーションの中、屋外広場と屋根付き広場でランニングやスポーツ、ピクニック等を楽しむことができる。健康づくりやイベントもできる複合施設として市内外からの誘客を促進する。



### 4. 景観を生かしたみんなが集まれる日常と少し距離を置いた空間



イベントスペース、火之神公園と差別化したキャンプ場、アスレチック、カフェがあり、森林浴もできる空間に。すべてのエリアを1m嵩上げすることで、道路や堤防という日常の視点を外す。海が見える景観を生かし、人々の憩いの場として非日常的なエリアを構築する。

### 5. ロケーションを武器にした海楽ゾーン

憩いの場となる散歩道と広場を整備。非日常空間を創出するために木々による目隠しなどを施す。季節を感じる草木のある空間と、官民が連携してイベントなどを開催し、非日常を演出し続ける空間を作り出すことで、海岸沿いに連なる火之神エリアへの誘客を促進する。



# MAKURAZAKI の魅力

枕崎市地域の魅力創出事業概要版：WS参加者作成

枕崎市の強み・弱み・機会・脅威を分析する「SWOT分析」後にそれぞれを掛け合わせる「クロス分析」を行うことで、戦略の発案につなげました。

## Step 1 SWOT 分析

枕崎市の強み・弱み・機会・脅威を分析

## Step 2 クロス分析

それぞれを掛け合わせて分析

### 枕 崎 市 の S W O T 分 析

#### Strengths 強み

豊かな食、かつお節、地場産業、景観、グルメなど

#### Weaknesses 弱み

若者流出、高齢化、人材不足、地理的不利など

#### Opportunities 機会

キャンプ流行、祭り・イベント、空き家活用など

#### Threats 脅威

台風、ICT化の遅れ、保守的思考、利己主義など

#### 弱み×脅威 (改善戦略)

「脅威」の影響を最小限にとどめるための防衛的な戦略です。

#### 強み×脅威 (差別化戦略)

外的要因である「脅威」に対して、「強み」を使って、どのように切り抜けていくかを考える戦略です。

#### 弱み×機会 (イノベーション戦略)

「機会」を活かすために、弱みを補強したり、改善したりする戦略です。

#### 強み×機会 (積極化戦略)

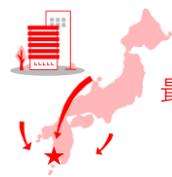
「機会」を最大限に活用して、「強み」を活かす、追い風に乗った積極的な戦略です。

So many!!

### 枕 崎 市 の ク ロ ス 分 析

少子高齢化、後継者不足、ICT化の遅れなど、枕崎の地域課題は、日本全国でも課題となっているものである。課題解決のための企業を全国から誘致し、日本の南端、枕崎市から最先端事業を創出する。

同時に、枕崎市で築かれた「丁寧な暮らし」ができるまちのイメージを守り、市民生活を充実させ、さらにはエリア外の人を引き寄せるような、誰もが心を惹きつけるまちにする。



南の端から  
最先端を目指して

弱み × 脅威



台風災害に強い、防災に優れたまちをアピールすることで、安心して住みやすく、持続可能なまちをつくり、台風をテーマに新たな特産品やスポットを創出する。

また、デジタル技術を強化することで、釣りやキャンプ、産業などの枕崎ならではのコンテンツを充実させ、多様な人が結びつくまちにするともに、枕崎市の強みである「食」のハイテク化・自動化を目指し「foodtec makurazaki」を実現する。

新しい  
可能性を探る

強み × 脅威



弱み × 機会

「高齢化・南の端」  
のイメージを変えよう



高齢者が培ってきた経験・伝統などは枕崎市の財産である。高齢者の知識や経験を学び、若者向けのイベント、子どもの教育、子育て支援へ活用することで、若い世代も住みたいと思えるまちにする。

また、南の端という地理的不利のイメージを、特別な「非日常」のイメージへと変え、「個」に特化したプレミアム体験を確立することで来訪者が個性に応じた魅力を味わえるまちをつくる。



強み × 機会

海・食・文化、  
魅力あふれる枕崎



海・食・文化・観光・歴史・産業等のポテンシャルを活かし、観光や企業などの様々なものが化学反応を起こし、イノベーションを創出するまちにする。

海外での日本食人気の機運を活かし、海外向けの食体験コースを整備し、枕崎市の誇る食の魅力を世界中に発信する。産業の「魅せる化」を支援し、さらに、まちづくりで活躍する人材を育成し、誰もが輝けるまちを目指す。

# MAKU戦略20

枕崎市のクロス分析をもとに4種類、20の戦略を導き出しました。  
枕崎市地域の魅力創出事業概要版：WS参加者作成

## 積極的戦略

### 世界を巻き込んだ食の魅力を発信!

枕崎は「食」が地域の魅力である。海外の日本食人気の機運を活かし、海外向けの食体験コースを整備し食の魅力を発信する。

### 質の高い食と大自然が凝縮されたまちに!

南薩の食・観光・歴史・自然・産業等の魅力がコンパクトに凝縮された枕崎のポテンシャルを活かし、まちの価値を高める。

### 日本の食を支えるまちに!

ブランド化などの産業の「魅せる化」を支援し、まちづくりに取り組む人材を育成することで、世界中に魅力が届くまちにする。

### 人、食、企業が集まるまち枕崎

複数の国道が通っており、観光や企業などの様々なものが出会い、繋がるまちであるという利点を活かし、新たなものが生み出されるまちにする。

### まちづくりをデザインできる枕崎

市街地と景勝地間の土地で夢や理想を現実に。古いもの・新しいものを受け入れて枕崎を想う人とともにまちをデザインする。

## 改善戦略

### 個性が輝きだすまち

地理的不利のイメージを変え、「個」に特化したプレミアムな体験を確立することで来訪者が個性に応じた魅力を味わえるまちを目指す。

### 伝統を継承する住みよいまちに!

この土地で育まれた様々な伝統を継承し、ブランドの価値を高め、住みたいまち、住みやすいまちを目指す。

### 若者を育てるまちに!

子ども・子育て世帯・若者の生活に有利な支援や環境を整え、若年層に選ばれるような、子育てと生活がしやすいまちにする。

### 世代間と住まいの風通しのよいまち枕崎

若者や高齢者が集う機会を創出し、個性を認め合いながら、伝統文化を継承・発信することで、魅力あるまちにする。

### 学ぶことから始める枕崎

アフターコロナを見据えて観光客が来たくなるまちへ。周辺地域から学び、南薩全体の魅力向上に貢献し、選ばれるまちにする。

## 差別化戦略

### 逆境に負けないまち

「台風」をテーマにした新たな特産品やスポットを創出するとともに、「食」をハイテク化・自動化した「foodtec makurazaki」を目指す。

### 豊かな自然と共に学び・歩み・成長するまちに!

自然と共存し、さらにIT技術を活かし、将来の外的な脅威を克服できる産業を興し、人とまちが着実に成長できる環境を創る。

### コンテンツで魅せるまちに!

釣りやキャンプ、産業などの枕崎ならではのコンテンツを強化し、人の流れを生むことで、多様な人が結びつくまちにする。

### たどり着きたいまち枕崎

枕崎のネームバリューを活かしながら、防災に優れたまちとしてアピールするとともに、台風災害への強さを守り、安心して住みよいまちにする。

### 新しいことに挑戦し続ける枕崎

挑戦する人が集まれば、話題が生まれる。時代の変化の中で、常に挑戦を続けて、新たな可能性を生み出し、持続可能なまちをつくる。

## イノベーション戦略

### ピンチをチャンスにした最先端

地域課題を日本全国の課題と位置づけ、課題解決のための企業を誘致し、日本の南端、枕崎から最先端事業の風を起こす。

### デジタル革新で過去と未来をつなぐまちに!

ITの普及による地理的不利の克服と産業の成長を促し、後継者不足を解消し、全世代が生活しやすい、持続できるまちを目指す。

### みんなが築ける(気づける)まちに!

今までにないクリエイティブな発想をメインに展開し、市民生活の充実やエリア外の人を引き寄せ、心を満たすまちにする。

### 退屈を楽しめるまち枕崎

アート作品や隠れた史跡など、人が作り出した昔と今の造形物や空間を楽しみながら、心を惹きつけるまちにする。

### 流行に流されない丁寧なくらしができる枕崎

世の中が目まぐるしく変化する中で時代を重ねるごとに生まれた価値、「丁寧な暮らし」ができるまちにする。